

ワーク概要 途上国における教育問題を解決するためには学校が必要である。途上国の山奥の村に小学校を建てるには何が必要だろうか。子どもたちが、村長、役人、親、NGO職員と交渉して必要なものを手に入れる体験ゲームを通じて、途上国で問題となっている教育、衛生、女の子を取り巻く厳しい状況などについて学ぶ。

ねらい 途上国の村に学校を建てるために必要なものは何かを考える中で、学校を建てる意義や教育がもたらす効果を理解する。役人、親、NGO職員などのキャスト(役者)との交渉を通じて、様々な人や組織が学校建設に関わっていることを学び、それぞれの役割や抱えている課題を知り、互いの理解と協力によって学校建設が実現していくプロセスを体験する。

教材 プラン・インターナショナルがベトナムの少数民族が暮らす地域で行った教育改善プロジェクトをもとに作成した。

必要人数 最低でも24人くらいが望ましい(1グループ4人×6グループ)。
※各グループから一人ずつキャストを選出:村長、教育局の役人、先生、父親・母親(村人)、NGO職員
(父親役・母親役はそれぞれ1名ずつ必要だが、1人で父親役・母親役を兼ねることも可能)

準備するもの

- ①各グループへ配布するもの(それぞれグループ数)
 - 「村情報」:グループ数+貼り出し用1枚
 - 「途上国に学校を建てよう!」ワークシート
 - 土地シート(A3サイズのコピー用紙など)
 - のり(セロテープ)
- ②キャストに渡すもの
 - 「キャストカード」:6人のキャスト別に1枚ずつ(父親役と母親役のカードは共通)
 - 「必要なものカード」(16アイテム):グループ数分印刷したものを線に沿って切り離し、「提供・条件・渡すもの一覧表」を参照してキャスト別に分けておく
 - 「親を説得する手紙」:グループ数
- ③その他
 - 「提供・条件・渡すもの一覧表」(ファシリテーター参考用):1枚
 - 黒板、チョーク(もしくはホワイトボード、マーカー)
 - 動画視聴用機材(パソコン、プロジェクター、スクリーンなど)

時間	発問・学習内容	ポイント
準備 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ●各グループでリーダー、書記、キャストを決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●キャストはクラス全体で6名必要。各グループでキャスト1名を決める。 ●キャストは展開②からグループを外れる。
導入 (3分)	<ul style="list-style-type: none"> ●発問1 「皆さんは毎日学校に通っています。日本では当たり前のことですが、もし学校がなかったら、困ることはありますか？」 「この教室が途上国の村だとします。この村は山奥にあって、学校はありません。こんな村です」 (黒板等に貼った「村情報」を読み上げる) 	<ul style="list-style-type: none"> ●いくつか挙げる。 ●「村情報」はワーク中もそのまま貼り出しておく。
展開① (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ●発問2 「今日のワークショップのタイトルは「途上国に学校を建てよう!」でしたね」 「それでは、この村に学校をつくるために必要なものは何でしょうか」 ●クラス全体で必要なものをたくさん挙げる。 (理由も聞けるとよい) ●必要なものを下の【学校を建てるために必要なものリスト】に当てはまるよう黒板等を使って分類する。 <p>「学校に必要なものをたくさん挙げてくれましたが、今日は、学校を建てるためにこのリストにあるものを準備しましょう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●時間があれば、「この村につくる学校はどんな学校にしたいですか?」と発問する。 ●分類は、教室内の設備(机、いすなど)、勉強に必要なもの(教科書、文房具など)、教室以外の設備(トイレ、井戸など)、勉強以外に必要なもの(給食、制服など)

時間	発問・学習内容	ポイント												
	<p>【学校を建てるために必要なもののリスト】 (12アイテムを板書する)</p> <table border="1" data-bbox="421 342 938 501"> <tr> <td>校舎</td> <td>机/いす/黒板</td> <td>トイレ</td> <td>井戸</td> </tr> <tr> <td>給食</td> <td>教科書</td> <td>運動用具</td> <td>救急箱</td> </tr> <tr> <td>文房具</td> <td>制服</td> <td>カバン</td> <td>先生</td> </tr> </table> <p>「それでは、グループの人たちと力を合わせて必要なものを手に入れて、学校をつくっていきましょう」</p>	校舎	机/いす/黒板	トイレ	井戸	給食	教科書	運動用具	救急箱	文房具	制服	カバン	先生	<ul style="list-style-type: none"> ● リストに当てはまらないものもアイデアとして尊重し、「その他」として分類する。 ● 時間があれば、グループごとに必要なものをリストアップし分類する。
校舎	机/いす/黒板	トイレ	井戸											
給食	教科書	運動用具	救急箱											
文房具	制服	カバン	先生											
<p>展開② (12分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 発問3 「学校を建てるために必要なものを手に入れるには、いろいろな人に相談や交渉をしなければなりません。どんな人に相談や交渉しに行くといいと思いますか」 ● 自由に意見を出してもらおう。 ● キャストの紹介 「今日は、村長、教育局の役人、先生、父親・母親(村人)、NGO職員を相手に相談や交渉をしていきます。キャスト(役者)に、この役をしてもらいましょう」 「それでは、それぞれに自己紹介をしてもらいましょう」 ● 村長、教育局の役人、先生、父親・母親(村人)、NGO職員役は、それぞれの自己紹介セリフを、気持ちを込めて読む。 ● 村長は各グループのリーダーに土地シートを渡す。 	<p>※ここからキャストはグループから外れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● この間に、キャストは集まって役を決め、対応する「キャストカード」を半分に折って、役名が相手に見えるように持つ。 <p>(父親・母親(村人)は、父親役・母親役で1枚)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● キャストはキャストカードの自己紹介セリフに目を通しておく。 ● 村長はグループ数分の土地シートを持つ。 ● キャストの自己紹介にこれからのワークのヒントがあるので、よく聞いておく。 												
<p>(10分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 発問4 「グループで話し合っ、【学校を建てるために必要なもののリスト】の中から特に重要なものを選んでください。重要な順に「途上国に学校を建てよう!」ワークシートの計画メモに書いて、それぞれ誰に交渉しに行くかを書きましょう」 	<ul style="list-style-type: none"> ● キャストはそれぞれの「必要なもののカード」を持ち、他の人には見せないようにする。(父親・母親(村人)は2人で1枚) ● NGO職員は「親を説得する手紙」を持つ。 												

時間	発問・学習内容	ポイント
	<ul style="list-style-type: none"> ●グループで話し合っている間に、キャストカードをもとに、キャストにそれぞれの役割を説明する。 ●グループが活動しやすいように、キャストは部屋の四隅など、それぞれ離れた場所に配置する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●グループが相談に来たら、キャストカードに沿って対応する。 ●すぐに渡せるものもあれば、条件つきのものもある。提供できないものはできないと言う。

ステップ
2



学校建設に必要なものを手に入れる。

めやすの時間

60分

時間	発問・学習内容	ポイント
展開③ (5分)	<p>◆ワークの流れの説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ●グループでまとまって行動する。 ●各キャストのところへ行って、「〇〇をください」と交渉して「必要なものカード」をもらう。条件つきの場合は、その条件を満たしてから再びそのキャストと交渉し、カードをもらう。カードをもらえないときは、どこに行けばもらえるかを考えて他のキャストと交渉する。 ●交渉する相手がどうしても分からない場合は村長に相談する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一連の流れを、ワークシート計画メモの例をお手本に見せるとよい。
(30分)	<p>◆ワークの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学校を建てるためにできるだけ多くの必要なもの(カード)を手に入れて、土地シートに貼る。 ●書記は、計画メモに「何を手に入れるために」、「誰に交渉、相談し」、「何を言われたか」を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●交渉したいキャストが他のグループと交渉中の場合は、時間節約のために、優先順位にこだわらず他のキャストと交渉してもよい。
(20分)	<p>◆グループ発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(計画メモを見て)必要なものの順位付けとその理由、交渉の経緯 ●(土地シートを見せて)手に入れたもの ●苦労したことや意見、感想 	

時間	発問・学習内容	ポイント
	<ul style="list-style-type: none"> ◆キャスト発表 ●提供したもの、相談に乗った内容 ●意見や感想 ◆質疑(他のグループやキャストへの質問) ◆ワークの背景説明(【解説】参照) 	
(5分)	<ul style="list-style-type: none"> ●途上国の学校や教育が抱えている課題とその解決に向けた取り組みに関する映像を見てワークを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●動画「新しい学校 新しい生活～少数民族教育地域における教育改善プロジェクト～(ベトナム)」(プラン・インターナショナル制作、4分43秒) https://www.youtube.com/watch?v=0u-9yV-R0q4 (最終アクセス 2020年6月12日)

解説

学校を建てるためには、建設費や備品・教材の購入費が必要なだけでなく、建てた後にも、教職員の人件費、維持管理費など多くの費用がかかる。開発途上国の教師は、専門的な教育を受ける機会が不足している他、給料が安いなど労働条件も良くないことが多い。このように、途上国では教育の質を維持・向上させるための環境の整備が不十分である。

一方、途上国の子どもたちは、水汲みやまき拾い、掃除、洗濯、子守、家畜の世話、畑仕事などの家事の重要な担い手であり、特に女の子への負担が大きい。女の子には勉強よりも家事をしっかりしてほしい、いずれ結婚して家を出ていく女の子に教育を受けさせてもメリットがないという考えが、特に農村部を中心にいまだに根強く残っている。そのため、途上国では読み書きや計算ができない女性の割合が高く、彼女らは安定した収入が得られる仕事に就くことも難しい。収入の少ない家庭は子どもを学校に通わせる余裕がなく、その子もまた読み書きや計算ができないといった負のサイクルが繰り返されることになる。

このような現状をふまえ、多くの支援団体(NGOなど)が、貧困、保健・衛生、教育、ジェンダー不平等などに関わる問題を改善していくために活動している。途上国でも多くの国が義務教育を法制化し、授業料や教科書代を無料にしている。しかし、制服や文具などをそろえるのは家計の大きな負担になるため、支援団体がそれらを支給して学校に通えるよう後押ししている例も多い。給食を提供することで、子どもが栄養を取ることができるだけでなく、保護者が子どもを学校に通わせる動機づけにもなる。また、教師への専門的なトレーニングは、子どもたちの学習能力の向上、体罰のない安全・安心な教育環境づくりに寄与する。それ以外にも、教育の重要性を親や子どもに対して啓発する活動も行っている。

地域住民の意識改革も重要である。井戸の掘削やトイレの設置により、衛生的な飲料水の供給や、屋外排泄による衛生環境の悪化を防ぐことが可能になる。併せて衛生教育(トイレの後や食事の前の石鹸を使った手洗いなど)を行ったり、これらの衛生設備の効果的な使い方・管理方法を指導したりすることで衛生習慣が定着し、住民の力だけで衛生的な環境を維持できるようになっていく。

世界では、いまだに10人に1人の子どもが小学校に通えていない。その多くが、このワークの村のように遠隔地の貧困地域で暮らす子どもや、女の子、障がいのある子ども、少数民族、紛争の影響下にある子どもたちである。すべての子どもに、安心して学べる環境や質の高い教育が必要である。そして「学校」は、貧困の負の連鎖を断ち切る重要な役割を担っている。



©Plan International

村情報

- 山奥にある村です。
- 人口はおよそ500人、40家族が暮らしています。
- 6～12歳の子どもが、男女およそ50人ずついます。
- 村人の仕事は主に農業で、ヤギや豚などの家畜も育てています。
- 水道や井戸はなく、川まで水をくみにいきます。
- 電気はありません。
- トイレのある家は少ないです。
- ふもとの村までは、けわしい山道を歩いて3時間かかります。
- 学校と診療所は、この村にはなく、ふもとの村にあります。

「途上国に学校を建てよう!」ワークシート

名前

- 1 「学校を建てるために必要なものリスト」に記入する。
- 2 リストの中から特に重要だと思うものを選んで、重要な順に計画メモに記入する。
- 3 それぞれ誰に交渉に行くかを「交渉に行く相手」の1番上の枠内に記入する。
- 4 交渉相手から言われたことや、その次に交渉に行った相手、そこで言われたことを記入する。

学校を建てるために必要なものリスト

計画メモ

	交渉に行く相手	言われたこと
例〇〇〇〇	親(村人)	お金がないから買えない。
	先生	何もしてあげられない。
	NGO	必要なものだから協力します。大事に使ってね。
1		
2		
3		

計画メモ		
	交渉に行く相手	言われたこと
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

資料

----- (半分に折り、みんなに役名が見えるようにして、気持ちを込めて自己紹介セリフだけを読んでください。) -----

自己紹介セリフ

私は村長です。この村をよい村にしたいと考えています。
村に学校を建てるなら私がもっている土地を提供しましょう。
何か困ったことがあれば相談にきてください。(「土地シート」を各グループのリーダーに渡す)

相談に来たら案内する先▶

村長は、どこへ交渉に行くとうまくいくか知っているのので、相談に来たら教えてあげてください。

相談	案内先(回答)	相談	案内先(回答)
校舎を建てたい	役所	給食を出したい	NGO
机、いす、黒板、教科書がほしい	役所	村人に校舎の建築を手伝ってほしい	村人に頼む
先生に給料を払うには?	役所	生徒を集めたい	親に、子どもを学校へ行かせるように頼む
トイレ、井戸をつくりたい	NGO	女の子を学校へ通わせるように親を説得したい	NGO
文房具、制服、カバンがほしい	NGO	(これ以外を相談されたら)	「残念だが私も分からない。」
運動用具、救急箱がほしい	NGO		

役人の教育局の

----- (半分に折り、みんなに役名が見えるようにして、気持ちを込めて自己紹介セリフだけを読んでください。) -----

自己紹介セリフ

私は役所で教育を担当しています。教育の大切さはよく分かっていますが、学校のために使うお金は十分にありません。山奥の村は後回しになってしまいます。でも村人の助けがあれば学校を建てられるかもしれません。

提供できるもの▶ 役人は以下のものを提供できます。条件付きで提供できるものは、条件に合うものを持ってきたらカードを渡してください。それ以外のものは提供できません。

提供できるもの	条件	渡すカード
校舎	建てるために村人の協力	校舎
先生の給料	生徒を80人集めること	給料
机・いす・黒板	条件なし	机・いす・黒板
教科書	条件なし	教科書

【補足説明】役所では、校舎を建てるための資材の購入と数人の大工を雇う予算しかない。そのため村人がボランティアで校舎建設の手伝いをしてくれたら学校を建てることができる。生徒がたくさん集まれば先生の給料を出すことができるが、山奥の村に教えに行ってくれる先生は役所ではなかなか見つからない。机・いす・黒板など教室で使う最低限のものはなんとか準備できる。教科書は無料だが貸し出し制のため、きれいに使ってもらい、進級したら返却してもらって次の学年の生徒に使わせる。

先生

----- (半分に折り、みんなに役名が見えるようにして、気持ちを込めて自己紹介セリフだけを読んでください。) -----

自己紹介セリフ

私は子どもが好きだし、先生の仕事も好きですが、村には学校がないので、今は違う仕事をしています。
村に学校ができれば、そこで先生として働きたいです。

提供できるもの▶先生は以下のものを提供できます。条件付きで提供できるものは、条件に合うものを持ってきたらカードを渡してください。それ以外のものは提供できません。

提供できるもの	条件	渡すカード
先生	給料	先生

【補足説明】先生の仕事にやりがいを感じていても、教師の給料は安いために、他の仕事をかけ持ちしないと家族を養えない。山奥の学校に行くとなれば、他の仕事が見つからないため、家族を養えるだけの給料が必要になる。

(村人) 父親・母親

-(半分に折り、みんなに役名が見えるようにして、気持ちを込めて自己紹介セリフだけを読んでください。)-

自己紹介セリフ

父親：ウチには男の子1人と女の子2人の子がいます。

学校ができれば男の子を通わせます。学校を建てるために協力します。

母親：私は村に学校がさんせいできることは賛成です。男の子だけでなく、できれば女の子も通わせたいですが、お父さんせつとくを説得するのは難しいです。

提供できるもの▶親(村人)は以下のものを提供できます。条件付きで提供できるものは、条件に合うものを持ってきたらカードを渡してください。それ以外のものは提供できません。

提供できるもの	条件	渡すカード
校舎建設の手伝い	条件なし	村人
男の子を学校に通わせる許可	条件なし	男の子
女の子を学校に通わせる許可	最初は断る(捕足説明参照) 説得する手紙を持ってきて読んでもらう	女の子

【補足説明】 父親▶男の子は学校に行ってもよいが、女の子は、水くみやそうじなど家の手伝いがあるから学校には行かせられない。それに、女の子は早く結婚するから勉強は必要ない。

母親▶私は文字が読めないから、女の子にも学校へ行ってほしい。でも、お父さんが納得なつとくしないと行かせられない。

尊厳 ON

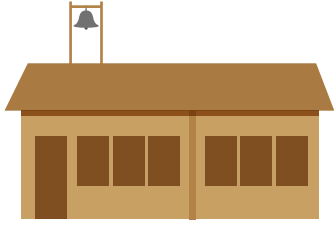
----- (半分に折り、みんなに役名が見えるようにして、気持ちを込めて自己紹介セリフだけを読んでください。) -----

自己紹介セリフ

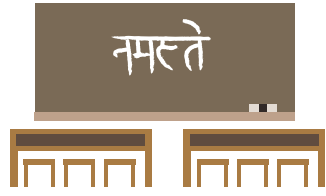
私たちは途上国の子どもたちのために世界中で活動しています。
村の子どもたちが学校に通えるように協力したいと思っています。

提供できるもの▶NGO職員は以下のものを提供できます。条件付きで提供できるものは、条件に合うものを持ってきたらカードを渡してください。それ以外のものは提供できません。

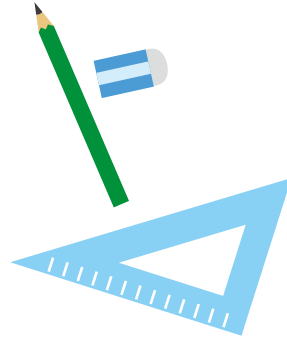
提供できるもの	条件	渡すカード
親を説得する手紙	条件なし	親を説得する手紙
給食	条件なし	給食
文房具・制服・カバン	条件なし	文房具・制服・カバン
運動用具・救急箱	条件なし	運動用具・救急箱
井戸・トイレ	清潔に使えるよう管理すること (口頭で約束してもらう)	井戸・トイレ



校舎



机・いす・黒板



文房具



教科書



村人



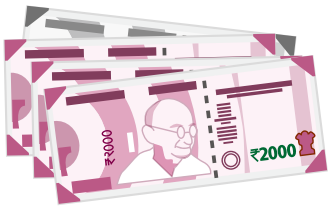
先生



女の子



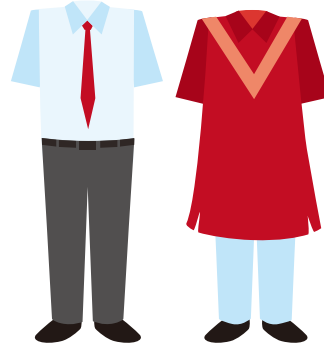
男の子



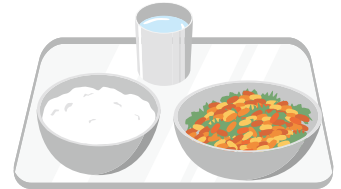
給料



運動用具



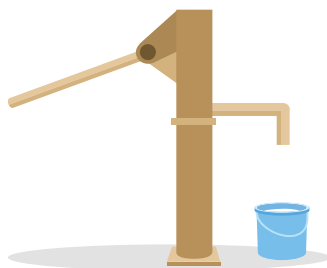
制服



給食



救急箱



井戸



カバン



トイレ

お父さん、お母さんへ

私たちは、世界中の子どもたちのために
活動しているNGOです。

村に学校ができれば、
男の子だけでなく、女の子も通わせてあげてください。

これからの村を豊かにする方法は教育です。

女の子が学校に通えるようになると、

学校で習ったことを役立てて、

農作物の収穫量が増えたり、赤ちゃんの病気が減ったりと、

村にとっていいことがたくさんあります。

村に学校ができれば、

水くみや家の手伝いをしながら通うことができます。

子どもたちだけでなく、村の未来のためにも、

すべての子どもたちを学校に通わせてあげてください。

よろしくおねがいします。

	提供できるもの	条件	渡すもの・できること
村長	土地		土地シート
	アドバイス		交渉先を教えること
教育局の役人	校舎	建てるために 村人の協力	校舎カード 
	先生の給料	生徒を80人 集めること	給料カード 
	机・いす・黒板	条件なし	机・いす・ 黒板カード 
	教科書	条件なし	教科書カード 
先生	先生	給料	先生カード 
父親・母親(村人)	校舎建設の手伝い	条件なし	村人カード 
	男の子を学校に 通わせる許可	条件なし	男の子カード 
	女の子を学校に 通わせる許可	最初は断る 説得する手紙を持って きて読んでもらう	女の子カード 
NGO職員	親を説得する手紙	条件なし	親を説得する手紙
	給食	条件なし	給食カード 
	文房具・制服・カバン	条件なし	文房具・制服・ カバンカード 
	運動用具・救急箱	条件なし	運動用具・ 救急箱カード 
	井戸・トイレ	清潔に使えるよう 管理すること (口頭で約束してもらう)	井戸・ トイレカード 